

事務事業名		国保連等運営費負担事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業																																
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度～)																																
	施策名	10 地域医療の充実																																		
	基本事業名	02 医療保険財政の健全化																																		
根拠法令		国民健康保険法第83条		予算科目 会計 款 項 目 事業 10 01 01 02 00 10 02 01 05 00																																
所属	部課名	生活福祉部国保年金課																																		
	課長名	佐藤 信一																																		
	係名	国保係	電話 0192-27-3111																																	
担当者		武田 貴子	内線 143	事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																																
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 国民健康保険団体連合会(国保連)の維持運営に係る保険者負担及び診療報酬の審査および支払業務の委託事業。 主な業務は、 ① 10.1.1.2.0 国保連維持、運営にかかる経費について、保険者の規模等に応じて負担するもの。 ② 10.2.1.5.0 診療報酬の審査・点検、一括支払事務を委託するもの。 となっている。																																				
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td>事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		財源内訳	都道府県支出金			地方債			その他			一般財源			事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																																		
	財源内訳	都道府県支出金																																		
		地方債																																		
		その他																																		
		一般財源																																		
		事業費計(A)	0																																	
	人件費	正規職員従事人数																																		
	延べ業務時間																																			
	人件費計(B)	0																																		
	トータルコスト(A)+(B)	0																																		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

- ① 総会で決定した負担金の支払い。
- ② 診療報酬の審査支払業務委託

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

前年度と同様

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

岩手県国保連

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

国保連の安定的な運営に資する。

④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)

国保連の安定的な運営と、診療報酬の適正かつ効率的な支払いにより、医療費の適正化が図られ、もって被保険者が安心して医療を受けられる環境に資する。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 総会出席回数	回
イ 審査・支払委託件数	件
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 国保連数	団体
キ 被保険者数	人数
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 国保連合会決算	千円
シ 審査・支払委託件数	件
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	6,225	5,705	5,256	5,300	5,300	5,300
			事業費計 (A)	千 円	6,225	5,705	5,256	5,300	5,300	5,300
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	4	4	4	4	4	4	
		人件費計 (B)	千 円	16	16	16	16	16	16	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	6,241	5,721	5,272	5,316	5,316	5,316	
⑤活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1		
	イ	件	176,026	183,106	174,803	180,000	180,000	180,000		
	ウ									
⑥対象指標	カ	団体	1	1	1	1	1	1		
	キ	人数	10,646	9,983	9,477	8,908	8,373	7,870		
	ク									
⑦成果指標	サ	千円	73,257	48,414	38,149	50,000	50,000	50,000		
	シ	件	176,026	183,106	174,803	180,000	180,000	180,000		
	ス									

事務事業ID	0099	事務事業名	国保連等運営費負担事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 国保法に基づき、国保事業の円滑な推進に寄与するため、国保の保険者が共同して設立した。
 また制度上、診療報酬の審査支払は、国保に関しては国保連が一括して行うこととなっているものである。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 診療報酬の審査支払のほか、共同事業の拡大、国保制度の広報宣伝、保険者が行う保険事業への援助など、国保連の果たすべき役割は重要性を増している。
 一方で施設の老朽化や利用者の減少により、被保険者向け保養施設や国保会館の宿泊部門廃止など、健全経営に向けた努力がなされている。
 また、審査支払業務については、東日本大震災の影響等で被保険者数や受診件数の増減することにより、処理件数が変動している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 国保事業の目的である保険給付事業における中核的役割を果たしている国保連の維持費の負担である。 レセプトを審査することにより医療費の適正化が図られ、国保事業の財政運営の健全化に寄与する。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 他の保険者との調整、全国各地の医療機関からの請求の集約、専門家による審査等、国保医療給付全般にわたる事業を実施している組織への負担金拠出事業であり、すべての国保保険者が共同で実施しているものである。 また、診療報酬の審査支払は、国保制度上国保連で行うこととなっているものである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 当市も会員として参画する総会等における民主的議論を経て、適正な事業規模を確保している。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 常に効果的の事業推進について、総会等において加入している保険者が方向性を議論するなど、国保連内でその成果の向上に向け取り組んでいる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 国保連は、国保制度上保険者が設立すると位置づけられているものであり、国保制度が維持される限り、休・廃止はありえないものである。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 県内全保険者の総意により定められる負担額であり、1保険者の判断により削減できるものではない。 なお、国保連内では電算処理の改善等コスト削減に努めており、負担金の単価は毎年少しずつではあるが低減してきている。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事務内容は、請求額の確認と支払事務及び予算決算事務のみであり削減の余地は無い。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 国保事業全体に資するものであり、不公平は無い。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性 ① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む)  3 終了・廃止・休止	(2) 改革・改善による期待成果 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 現状どおり継続して事業を実施する。	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>成果維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト			削減	維持	増加	向上				成果維持		●	×	低下		×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
成果維持		●	×																	
低下		×	×																	

4 課長等意見

(1) 今後の方向性 ① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容 県内各市町村と連携を図りながら、継続して事業を実施する。
--	--